

Mizuho Daily Market Report

2023/8/14

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	144.61	144.96	+0.21	+3.20
EUR	1.0993	1.0949	▲0.0032	▲0.0057
AUD	0.6524	0.6496	▲0.0019	▲0.0074
SGD	1.3491	1.3522	+0.0028	+0.0127
CNY	7.2353	7.2396	+0.0208	+0.0667
MYR	4.5870	4.5880	+0.0175	+0.0340
THB	35.08	35.09	▲0.02	+0.30
IDR	15219	15215	+30	+45
PHP	56.33	56.33	+0.08	+0.58
INR	82.77	82.84	+0.12	▲0.00

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.152%	+4.7 bp	+11.8 bp
日本(10年)	0.584%	+0.0 bp	▲6.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.623%	+9.5 bp	+6.1 bp
オーストラリア(5年)	3.862%	+5.8 bp	▲5.7 bp
シンガポール(5年)	2.999%	+2.8 bp	+1.8 bp
中国(5年)	2.422%	▲1.0 bp	▲0.5 bp
マレーシア(5年)	3.594%	+0.3 bp	▲2.5 bp
タイ(5年)	2.433%	+0.8 bp	+7.4 bp
インドネシア(5年)	6.051%	+0.4 bp	▲1.8 bp
フィリピン(5年)	6.158%	▲1.1 bp	▲16.3 bp
インド(5年)	7.182%	+4.6 bp	+0.8 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	35,281.40	+0.3%	+0.6%
N225(日本)	32,473.65	+0.0%	+0.9%
STOXX50(ユーロ圏)	4,321.33	▲1.4%	▲0.3%
ASX(オーストラリア)	4,105.93	▲1.2%	▲0.6%
FTSTI(シンガポール)	3,294.28	▲0.9%	+0.1%
SSEC(中国)	3,189.25	▲2.0%	▲3.0%
KLSE(マレーシア)	1,457.16	▲0.1%	+0.8%
SETI(タイ)	1,535.16	+0.1%	+0.3%
JKSE(インドネシア)	6,879.979	▲0.2%	+0.4%
PSE(フィリピン)	6,405.91	▲0.7%	▲0.7%
SENSEX(インド)	65,322.65	▲0.6%	▲0.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	279.74	▲0.1%	+0.1%
金	1,913.76	+0.1%	▲1.5%
原油(WTI)	83.19	+0.4%	+0.4%
銅	8,255.60	▲1.1%	▲3.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	144.10	—	146.00
EUR/USD	1.0920	—	1.1010
AUD/USD	0.6450	—	0.6580
USD/SGD	1.3500	—	1.3580
USD/CNY	7.2080	—	7.2490
USD/MYR	4.5880	—	4.6300
USD/THB	34.95	—	35.55
USD/IDR	15180	—	15280
USD/PHP	56.10	—	56.80
USD/INR	82.45	—	83.00

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は144円台後半の水準でオープン。東京休場で参加者も少なく、心理的節目の145円を目前に警戒感が強まる中、144円台後半でもみ合う展開となった。ハンセン株式指数を中心としたアジア株の軟調推移も目立つ中、ドル円は午後にかけてもやや上値重く推移し、144円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は、米7月消費者物価指数では9月利上げ期待は高まらなかったものの、依然として追加利上げの懸念が残ったことで、ドルが堅調に推移したため、軟調な推移となった。

海外時間のドル円は144円台半ばでNYオープン。NY朝方に発表された米7月コアPPI(前年比)が予想を上回り、米インフレが予想程減速していないとの思惑から、ドル買いが優勢となり、144円台後半まで上伸する。続いて発表された米8月ミシガン大学消費者マインド指数(速報値)は予想通りの結果となるものの、5-10年期待インフレ率は予想を下回った内容が嫌気され、売りで反応し144円半ばまで下落する。その後はダウ平均株価の堅調な展開が下値を支え、144円台後半まで反発する。午後ドル高基調が続き、心理的節目の145円をタッチするも、週末を控え、積極的な取引が手控えられる中、上げけできず反落し144円台後半でクロースした。

【金利】

米債市場は、中長期で大幅上昇。朝方発表された7月生産者物価指数(PPI)の数値が予想比強めに出了ことで、利上げ継続観測が強まり、発表後より金利上昇となった。

【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想する。米8月ミシガン大学5-10年期待インフレ率が予想を下回るなど軟調な経済指標だったにもかかわらず、再び145円を目指す展開が継続している。米国の9月利上げ期待は高まっていないものの、引き続き、米国の再利上げ懸念などが燦る。今朝がたに145円を突破したこともあり、さらなる円安進行には留意が必要そうだ。

【本日の予定】

(アジア) 6月 フィリピン 海外フィリピン人労働者送金
(アジア) 7月 インド CPI
(アジア) 7月 インド 卸売物価
(アジア) 7月 インド 輸出 / 輸入
(アジア) 休場タイ
(アジア) 台湾・頼副総統がハラガイ訪問
(欧州) 7月 愛 不動産建設業PMI
(欧州) 独 国債入札(6M)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。